

2008年度予算 修正案提案

再開発補助金31億円をカット

商店街の応援、福祉・教育の支援に45億円

自民・フォーラム民社・公明・みらいが否決

党区議団は、区民のくらしを守るために二〇〇八年度予算の修正案を提案。森ビルなどの再開発への補助金三十一億円を削除し、福祉・教育などの施策の充実に約四十五億円追加するものです。提案に先立ち各会派に共同提案を申し渡しましたが、各会派とも賛同せず、六名での提出。

党区議団が各党委員の質問に答え、審議の結果、自民・フォーラム民社・公明・みらいの多数で否決しました。(詳細は区議団ニュース二〇〇八年春号を参照下さい。ご連絡いただければお届けします。)

第一回定例区議会が二月下旬から三月上旬まで開かれました。議会では、予算の審議も行われました。六名の党区議団は、日頃みなさんからお寄せいただいている要望・意見を区政に反映するために奮闘しました。また、党区議団は、再開発補助金を削減し、福祉・教育・中小企業に使う予算修正案を提案、「港区立中学校修学旅行費の補助に関する条例」など三つの条例提案も行いました。

風見利男 (日本共産党 港区議会議員) 区政とあなたを結ぶ 139

Email ● kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp
HP ● http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp

政治革新の道しるべ 真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 ● 月2,900円
日曜版 ● 月800円

長寿はいけないのか

「早く死ねということだ」、「うば捨山だ」、日本中で怒りがわき起こっている後期高齢者医療制度。みなさんの運動で廃止・中止させましょう。

高い保険料容赦なく

七十五歳以上のお年寄りには四月から、今まで入っていた国民健康保険などから全員が脱退させられる新しい制度に強制加入です。生計をともししている親子や夫婦でも例外はありません。

無理やり切り離す

高い保険料負担は、お年寄り一人ひとりにのしかかります。

後期高齢者医療制度中止に

こんなひどい制度 許せない!

年金から天引き

保険料は原則、年金から天引きされます。月々の年金は増えない上、物価も次々と高騰する中、お年寄りのくらしを直撃するものです。

滞納には全額負担

一年以上保険料が払えず「悪質滞納者」とみなされると、保険証を取り上げ、代わりに「資格証明書」が発行され、病院窓口で医療費の全額(十割)を支払わなければなりません。しかも、保険証の返還に応じない高齢者には、十万円以下の罰金を科すことまで盛り込んでいます。

医療差別どこまで

四月から七十五歳以上だけを区別した診療報酬の体系が導入されました。

厚労省に「痛み感じよ」

制度導入のねらいは、高齢者にかかる医療費を削減することにあります。厚労省は「この制度は、医療費が際限なく上がった

健診など「ムダ」!

四月からは、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を中心にした新しい健康審査制度が始まります。対象年齢は四十歳から七十四歳までに限定。七十五歳以上は行政の「努力義務」として、法律上は対象からはずしました。港区では党議団の提案で、従来通り健診が受けられます。

乳幼児を、転落事故から守れ

昨年富山県で、オムツ交換台(COMBEE)から乳児が転落・負傷した事故で、メーカーや設置者の責任が問えるかを検討してきた国民生活センターは、「指示・警告上の欠陥があるので、メーカーには製造物責任法の責任があった」との見解を公表しました。



ていく痛みを、後期高齢者が自ら自分の感覚で感じ取っていたたくも「のだ」と語っています。(署名にご協力ください。)

なんでも相談

☆毎月第3月曜日、午後6時30分より 青山福祉会館を予定 (南青山2-16-5)
☆事前にご連絡いただくと幸いです。☆連絡先…風見宅Tel.3400-5015 控室Tel.3578-2945

コンビ社製のオムツ交換台が七施設十六カ所にあることが判明しました。予算委員会では「問題のあるオムツ交換台は即刻取り替え」るよう質問。区長は「取り替えも含め、安全性を確保するための処置をする」と答えました。



**清水湯の建て替え中
青山・青南福祉会館等の風呂「毎日の利用を」と提案**

青山・赤坂ただ一つの公衆浴場「清水湯」(南青山三丁目)が、建替えのため来年四月中旬まで休業します。党区議団は予算委員会で清水湯の建替えが完了し、開業するまでの間、近隣の青山・青南・西麻布福祉会館のお風呂を、火・木・土

「高齢の利用者の動向・ご意見等を踏まえ、対応していきたい」と答弁。

一日も早く、福祉会館のお風呂が毎日利用できるよう働きかけていきます。

**みなと九条の会三周年記念集会
沖縄からみる憲法九条 会場あふれる参加者**



でるほどの盛況でした。

糸数慶子参議院議員が「軍隊は国民を守ってきたか」と題して、「孫子の代に平和憲法を引き継ぐのは、私たちの仕事」と語りはじめ、自らの平和バスガイドの経験や、おじい、おばあからの生々しい戦争体験、ガマでの出来事など、日本軍の実態を話しました。

三月九日、みなと九条の会主催の「三周年記念集会」が開催され、座れない人が

会事務局長は、「憲法改正と九条の会のこれから」と題して講演。

改憲勢力は、「憲法改正

でなくつくり直すということだ」と、自民党憲法草案の自衛軍の規定などについて説明。「新憲法制定議員同盟」の危険な動きも注視する必要があると指摘しました。自衛隊のイージス艦と漁船の衝突事件の背景、国会でのテロ特措法の五十七年ぶりの再議決と、五十七年前の再議決にもふれ、朝鮮戦争をめぐる状況の中

モーターボート競争法を設け、立させ、「アメリカの戦争に協力する姿勢は同じだ」と指摘。「世論を大きく拡げていくことが急務」と話しました。島唄の第一人者大工哲弘さんがそのノドを披露、会場を魅了しました。

**大学生の奨学金制度が始まる
〇八年度入学者にも後期から適用**

大学などへの入学者の奨学金制度がはじまります。二〇〇八年度から実施。(実際は二〇〇九年度の大入学者が対象)奨学金の貸付は国公立が月額四万五千円(自宅通学)、五万五千円(自宅外通学)。私立が五万四千円(自宅通学)、六万四千円(自宅外通学)です。入学資金は三十万円です。

委員会の中で党委員は、制度の充実を評価した上で、今年の四月の入学者についても、年度途中からでも適用すべきと提案。他会派からも同じような意見がだされ、委員会として教育委員会に要望しました。教育委員会は「後半期から適用と

なるよう具体化」と答えてきました。党委員は、先進国の例も紹介し、卒業したら返済を免除するよう提案しました。

音楽スタジオ設置推進を

備えた「音楽スタジオ」の設置を積極的にすすめるよう質問、担当課長は「区長部局と十分協議していく」と答えました。党区議団に「バンドの練習のできる場所がほしい」と願っている「若者や中高年の方がたくさんいる」「民間のスタジオは利用料が高すぎる」との声が寄せられています。



予算委員会でドラムセットなどの楽器・音響設備を

江東区では区文化センター、五地域の文化センター、公会堂などに設置されており、区文化センターの使用料は二時間八百円と廉価です。港区でも高輪区民センター等がありますが、ほぼ百分の利用でなかなか使えません。区の空き施設、新規施設などに設置するよう求めていきます。

**新一年生元気に入学式
青小21人、青南小102人**

4月7日、満開の桜の花に祝福されて区立小学校、8日には中学校の入学式が行われました。小学校では保護者と一緒に、緊張の面持ちで学校に入る姿が印象的でした。各学校の新一年生は次の通りです。

- ☆ 青山小学校… 21人
- ☆ 青南小学校… 102人
- ☆ 赤坂小学校… 44人
- ☆ 筈小学校… 54人
- ☆ 青山中学校… 44人
- ☆ 赤坂中学校… 29人
- ☆ 高陵中学校… 52人



